

「放射線防護に関する専門家意見交換会」

(公財)放射線影響協会は、国際放射線防護委員会(ICRP)委員をはじめ放射線防護に係る専門家の方々をお招きして「放射線防護に関する専門家意見交換会」を下記の通り開催致します。皆様のご参加をお待ちしております。

記

1. 日時 令和2年1月21日(火)13時00分～16時30分
(開場12時30分)
2. 場所 (お茶の水)ホテル東京ガーデンパレス(2階 天空の間)
3. 主催 公益財団法人放射線影響協会
4. 参加費 無料
5. 定員 90名(但し、原則として1機関2名までとさせていただきます)
6. 参加申込方法
参加を希望される方は、kikakubu@rea.or.jp宛に、メール件名を『放射線防護に関する専門家意見交換会参加申し込み』と入力いただき、参加者(2名の場合は2名とも)の①氏名(フリガナ)②ご所属③ご連絡先(Eメールアドレス、電話番号等)を明記の上、ご送信下さい。(いただいた個人情報は今回の参加確認以外には使用致しません。なお、Eメールをお持ちで無い方は、電話(03-5295-1784)でも受付致します。
7. 参加申込締切 令和2年1月16日(木)午後5時
先着順に受け付け、定員になり次第締め切ります。参加希望をお送りいただいた方には参加の可否をご連絡します。
8. お問い合わせ先
〒101-0044 東京都千代田区鍛冶町1-9-16 丸石第2ビル
(公財)放射線影響協会 企画部 富田 又は 林 (電話 03-5295-1784)

【プログラム】

主題： 「現存被ばく状況の放射線防護」に関する専門家意見交換会

開催趣旨： ICRP2007年勧告で導入された3つの被ばく状況は、放射線防護の基本的なアプローチとして参考レベルを使用した最適化がより強調されている。現存被ばく状況の代表的な事例である宇宙線、ラドン、NORM、事故復旧期について、専門的立場から現存被ばく状況の対応の現実的課題を討論し、防護のポイントの理解を深める。

内容：

1. 開会挨拶【放射線影響協会】

2. 意見交換会 進行：甲斐倫明 ICRP MC 委員 (講演)

①ICRP 勧告の要点

- a) 本間俊充 C4 委員講演「宇宙線、事故復旧期」
- b) 甲斐倫明 MC 委員講演「ラドン、NORM」

②各専門家から見た課題と展望

- a) 日本原子力研究開発機構高速増殖原型炉もんじゅ 石森有安全・品質保証部長 講演「さまざまな環境のラドンに対する防護」
- b) 広島大学原爆放射線医科学研究所 保田浩志教授 (ICRP TG83 専門委員) 講演「航空飛行時の宇宙放射線からの防護」
- c) 量子科学技術研究開発機構 岩岡和輝主任研究員 講演「NORM の放射能濃度調査」
- d) 東北大学大学院薬学研究科 吉田浩子准教授 講演「福島第一原発事故後の復旧期における住民の放射線防護」

～休憩～

③ 壇上討論

④ 会場参加者との質疑応答

3. 閉会挨拶【放射線影響協会】

以上